

Karydo TherapeutiX 社との業務提携を開始 AI システムを活用し医薬品・食品等の人体への効果や副作用を高精度で予測 ～被験物質の構造情報は不要 生体の反応のみで予測が可能～

長瀬産業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）は、ビッグデータや AI 技術を活用して医薬品・食品・農薬などの人体への影響を予測するサービスを開発・提供する Karydo TherapeutiX 株式会社（東京都千代田区、代表取締役：佐藤 匠徳、カリウド・セラピューティクス株式会社、以下「カリウド社」）との業務提携を開始しました。

長瀬産業は、医薬品業界向けに医薬品、医薬品原体、合成用中間体や添加剤、食品業界向けに機能性食品素材などを提供しており、幅広い顧客ネットワークを有しています。これらの業界では、新しい有効成分や機能性につながる新規化合物の承認にかかる期間の長期化、それに伴う開発費用の高コスト化が、課題の一つとなっています。

カリウド社は、医薬品や食品を摂取した際に生じる、生体の多次的な多臓器間クロストークネットワークを解析するアルゴリズムをコア技術としています。例えば医薬品を投与した際に、生体内の様々な臓器で起きる反応（数値変化など）を入力して数理・情報・AI 解析することで、医薬品の構造情報がなくても効果や副作用を予測することができます。結果が導き出される過程が見えないブラックボックス型の AI と異なり、データと結果の因果関係、医薬品の効果や副作用が生じるメカニズムを“見える化”できるホワイトボックス型の技術であることも強みです。

同技術により、新薬のターゲット（作用点）をより短期間で予測したり、新薬の臨床試験での成功確率を上げたりすることで新薬開発のプロセス短縮に寄与することが期待されます。また、診断のための新たなバイオマーカーやターゲットの探索がより短期間で進めば、病気の予防・未病（症状の軽い状態）への新たな医学的アプローチの可能性が広がります。長瀬産業はこのたびの業務提携により、カリウド社が開発した基盤技術を国内外で独占的に営業する権利を得ます。本技術を医薬品、食品等のフィールドに展開することで、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献してまいります。

■ Karydo TherapeutiX 株式会社 概要

(1) 名称	Karydo TherapeutiX 株式会社（カリウド・セラピューティクス）
(2) 本社所在地	東京都千代田区
(3) 代表者	代表取締役 佐藤 匠徳
(4) 設立	2015 年
(5) 事業概要	疾病の早期診断・早期予防または先制医療・治療・コントロールを可能にする技術プラットフォームの開発及びシステムの提供
(6) URL	https://karydo-tx.com/



◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 URL : <https://www.nagase.co.jp/>

<事業に関するお問い合わせ>

長瀬産業株式会社 ライフ&ヘルスケア製品事業部 ファーマメディカル部

TEL: 06-6535-2327

<報道に関するお問い合わせ>

長瀬産業株式会社 経営企画本部 企画管理室 TEL:03-3665-3640